

# 「IYP」ニュース

VOL.6 H27.10.17

## IYP「石狩の未来を考える子ども議会」が終わりました！

10月17日（土）石狩市役所の議場にて、IYP「石狩の未来を考える子ども議会」（以下、子ども議会）を開催しました！

「ふるさと石狩～これからも住み続けるために自分たちができること」をテーマに5回のミーティングを重ね、『福祉』『教育』『暮らし』の3グループに分かれて検討をしてきました。

子ども議会では、それぞれのグループから石狩市長に対し、提案・質問をして、それに対し答弁をしていただきました！

体調万全で集合してくれたメンバーたちは「緊張してる？」と聞くと、「大丈夫！」や「楽しみ！」と笑顔で答えてくれました！IYPオリジナルデザインの「議員バッジ」も付けて準備万端です★

最終リハーサルに臨み、声の調子も立ち位置もバッチリ♪石狩市の中高生が考える「これからも住み続けたい石狩市」はどんなまちなのでしょう。子ども議会をふりかえります！ ⇒⇒



### 今回のまとめ

IYPメンバーから選出された議長・副議長の進行による、1時間40分間の子ども議会でした。「緊張していない」と言っていたメンバーたちも、子ども議会が終わったあとは安心感と達成感に満ちた表情でした！

子ども議会での提案資料は、11/5～11に市民図書館で開催する「中高生フェスティバル」で展示するほか、5回のIYPミーティングと子ども議会までをまとめた報告書を作成中です！

IYPはこれからも中高生の視点で石狩市のまちづくりを考えます！



### 【提案】

- どのようなボランティアがあるのかを知って貰うため、学生が率先してボランティアに参加し、ボランティアのイメージを変える
- ボランティアを始めたい、続けたいと思って貰うため、学生向けにボランティアをPRするポスターやパンフレットを作り、学校等に掲示する

### 【質問・答弁】

- Q.中高生が力になれるボランティアにはどのような活動がありますか
- Q.「ボランティアの日・週間」は作れますか
- A.若い世代がボランティア活動をする事自体に意味があります  
「できることをできるときに」積極的にボランティア活動をしてほしい

### 【提案】

- 市内観光スポットを巡るスタンプラリーの企画
- 既存施設に屋根を作ったり、使えるスポーツを増えるように施設を大きくしたり、市郊外にもスポーツ施設を増やす
- 子どもが公園のルール作りに参加できる場をつくる

### 【質問・答弁】

- Q.現在、石狩市をつなげる取り組みを行っていますか
- A.厚田区に、デマンド交通としての役割を持つ道の駅を作る計画があり、自転車を活用したスタンプラリーは道の駅計画と併せて実現に向かえるのではないかと

Q.石狩市の観光PRはどのように行っていますか、十分だと感じていますか

A.今後は海外からも観光に来てもらえるよう、関係団体と連携をとり広くPRをしていきたい

Q.なぜ、ボール遊びをしてはいけないのですか

A.不特定多数の人が集まる公園内でボール遊びをすることは危険だが、公園を管理している町内会には、ボール遊びをしても良い時間等を設定している町内会もあります

Q.今まで、子ども達が公園の設計やルール作りに参加したことはありますか、また今後そのような機会を作ってくれませんか

A.公園のルールを話合ふときや新しく公園を作るときには子ども達の意見が取り入れられており、今後もその仕組みは継続されます

積極的に子ども達の声を地域や市に届けてほしいと思います

### 【提案】

- 身近な言語として、手話や外国語を話す人と会話できるようにする
- 学生の手話サークルを作り、幼稚園などに行き、手話で歌を披露するなどの活動をする
- 手話条例を拾えるためのポスター制作
- 手話や外国人との交流イベントに参加

### 【質問・答弁】

Q.手話の講師（先生）を呼び、授業をしませんか

A.手話を身近なものとして正しく理解するために有効な方法として、関係者と協議を進めます

Q.手話条例が可決された12/16を「手話の日」にして、イベントや授業をしませんか

A.関係団体やボランティア、学生の声により自主的にイベント等が開催されることを期待しています

Q.外国語をもっと身近な言語にするために、姉妹都市への留学費用を無料にしてほしい

A.姉妹都市との交流事業は国際交流協会が実施しているため、市が留学費用を無料にする等を決めることはできません  
このような提案があったことは、市から国際交流協会に伝えます